

# 富士見台だより

2020年12月24日  
冬休み号  
藤沢市立富士見台小学校  
校長 三橋 雅幸

## 楽しみをつくろう

コロナ禍で学年・学級を越えた交流活動が大幅に制限されている中、児童代表委員会・運営委員会からの提案で“富士見台YouTube”に取り組みました。各学級で動画を作成するというもので、学級紹介、学習発表、特別に企画したものなど内容は各学級に任せられます。子どもたちみんなで何をやるか考え、見てくれる相手を意識しながら、一つのものをつくりあげていくという過程が、とても大切な学習活動だと考えています。各学年なりにがんばりました。1月に校内放送で、全校で見合います。

さて、あしたから冬休みです。今年度は2学期制のため『あゆみ』の配布はありません。例年ならクリスマスとお正月のにぎやかなイベントが続くのですが、今年はちょっと違いそうです。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を工夫したり、自粛したりしなければならないこともあります。いっどこで感染するか分からないだけに、「マスク・手洗い・くっつかない」で、感染予防を地道に続けるしかなさそうです。

遠出していろいろな人と会うことは難しそうですが、家族でゆっくり過ごすにはよい機会かもしれません。冬休みは、日本の伝統文化に目を向けるよい機会です。昔からずっと続いている様々な行事・習慣・風習などには、一つ一つに昔の人の願いや思いが込められています。年越しそばやおせち料理など、年末年始に食べるごちそうへの願い、お年玉や年賀状の意味など、昔の人の発想や考えに思いを巡らしながら、家族でいつもと違った年末年始の楽しみ方ができたら素敵だと思います。コロナ禍でも楽しい年末年始にしたいものです。

学校は、年末年始の29日(火)～1月3日(日)まで機械警備となります。忘れ物などご用の際は、それ以外の平日、職員玄関のインターホンをご利用ください。

来年の後期再開日(1月8日)に、富小の子どもたちみんなの元気な顔で会えることを、楽しみにしています。



屋上から望む大山

1月 後期再開は8日(金)です

8時15分～8時30分登校 マスク・校帽着用

2～6年：5時間授業 1年：4時間授業 給食あり

持ち物・うわばき・白衣・連絡帳・防災頭巾・時間割

・健康調査票(朝の検温)

など



## ☆子どもたちの様子から(11月末～12月初)

### ◎4年・獣医師による学校往診

11月25日(水)藤沢市獣医師会の獣医師の方々に来ていただき、4年生が動物の身体について学習をしました。ウサギや鶏のからだのつくりについて話を聞いたり、いろいろな動物の心拍音のクイズをしたりしました。聴診器で自分の心拍音を聞く体験もしました。コロナ禍で、動物を実際に触ることはできなかったのは少し残念でした。動物や自分の身体のつくりに興味を持つきっかけになりました。



### ◎4年・プラネタリウム

11月27日(金)4年生が、湘南台文化センターに理科の学習で、プラネタリウムに行きました。感染予防対策で収容人数が減ってしまったので、午前中に4の2と4の3、午後には4の1と分かれていきました。湘南台までは近いので、歩いて行きました。月や星の動きをプラネタリウムで見ることができたので、授業理解の大きな助けとなっています。

### ◎1年・おみせやさん

11月末～12月はじめ、1年生が生活科で学級ごとの“おまつり”や“お店屋さんごっこ”を行いました。今年度は、感染拡大予防のため、富士見台まつりは中止しました。子どもたちが狭い場所で密にならないようにやり方を考え、学級ごとに学級内での実施となりました。どの店も子どもたちが自分たちで考え、協力して商品をつくったり、サービスをしたりしていました。



### ◎5年・遠足

4日(金)5年生が、八ヶ岳野外体験教室の代替として、遠足に行きました。バスでの移動時間も考え、相模湖にあるプレジャーフォレストに行きました。好天にも恵まれました。遊園地と行っても、身体を動かして遊ぶアトラクションも多く、自然豊かな環境の中で、八ヶ岳とはまた違った、楽しい1日を過ごすことができました。5年生での友だちとのよい思い出が一つできました。



# 公立小学校・中学校 これからの学習評価

## 新しい学習指導要領、スタート！

(小学校：2020年度～、中学校：2021年度～、特別支援学校は小・中学校学習指導要領に合わせて実施。)

全国どこの学校で教育を受けても、一定の教育水準を確保するために、各教科等の目標や内容などを文部科学省が定めているものが学習指導要領です。教科書の内容や学校での学習指導と学習評価の基となるものです。

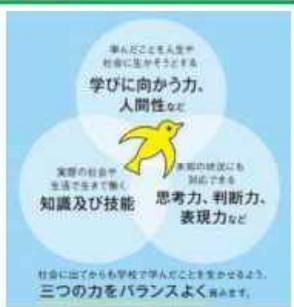
各学校では、学習指導要領に定められる各教科等の指導事項や、授業時間数等を踏まえ、地域や学校の実態に応じて、各学校が定める教育目標を実現するために、教育課程を編成し、指導と評価の計画を立てています。

## 社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、三つの力をバランスよくつけていきます。

新学習指導要領では、幼稚園から高等学校までのすべての学校教育で、

- (1) 知識及び技能
- (2) 思考力、判断力、表現力等
- (3) 学びに向かう力、人間性等

の「三つの柱」で示された資質・能力を育成することとされました。



### 「学びに向かう力、人間性等」の評価について

「学びに向かう力、人間性等」には、

⑥「主体的に学習に取り組む態度」として観点別評価（学習状況を分析的に捉える）を通じて見取ることができる部分と、

⑦観点別評価や評定にはなじまず、こうした評価では示しきれないことから個人内評価を通じて見取る部分があります。

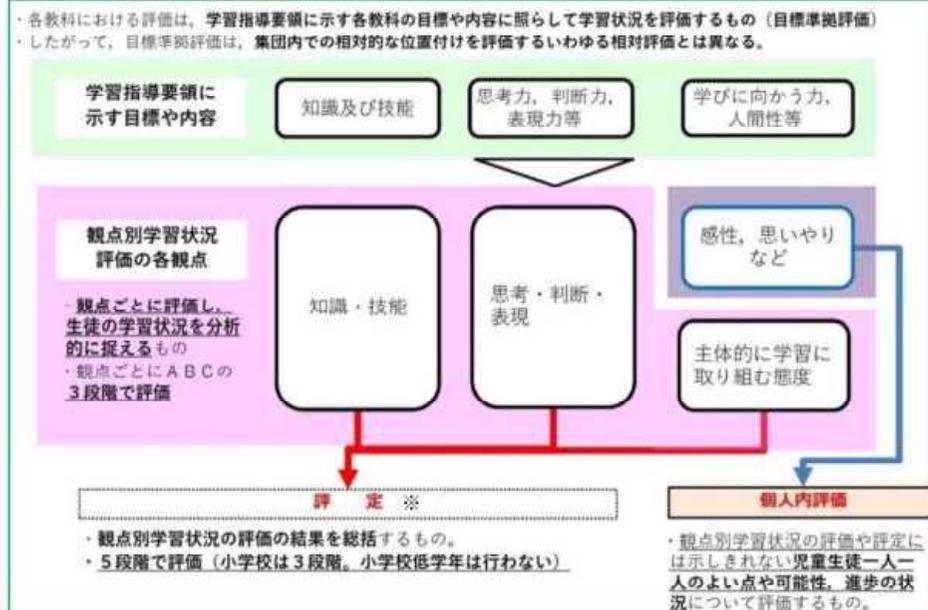
④「主体的に学習に取り組む態度」は、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることにに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意味的な側面を評価します。

参考 ①文部科学省「新しい学習指導要領 保護者向けリーフレット」(平成29・30年改訂 学習指導要領 周知・広報ツール)  
 ②文部科学省 国立教育政策研究所「学習評価の在り方ハンドブック」(小・中学校編) 令和元年6月  
 ③神奈川県教育委員会「カリキュラム・マネジメントの一環としての評価と評価」(学習評価資料集) 令和2年3月



➤右の二次元コードから参照できます。

## 評価の基本構造



文部科学省初等中等教育局教育課程課「新学習指導要領の全面実施と学習評価の改善について」令和元年度地方協議会等説明資料

※「評定」は観点別学習状況の評価の結果を総括したものです。通知表(あゆみ)等での表記は、各学校の工夫によります。

## 各教科における評価は、集団内の位置付けではなく、学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして、一人ひとりの学習の状況の評価するものです。

### Q 観点別学習状況評価の各観点は、どのように評価されるのですか？

A 「知識・技能」は、各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについて評価します。  
 「思考・判断・表現」は、各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。  
 「学びに向かう力、人間性等」の「主体的に学習に取り組む態度」は表面に示したとおりです。また、「感性、思いやりなど」については、ABCではなく、一人ひとりのよい点や可能性、進歩の状況、努力や工夫などを積極的に認め、評価し、自信や意欲につなげる評価をし、日常的に伝えます。

### Q 家庭として、学校から評価を受けとったら、どのような対応をすればよいですか？

A 児童・生徒一人ひとりが、教科等の目標をどこまで達成したか示していますので、御家庭では、受け取った結果をお子さんと一緒に御覧いただき、よく達成できたところはほめて伸ばしていただくように、課題があるところは今後どのように学習していくかを共に考え、次の学習への自信や意欲につなげていくようにしてください。

学習指導要領を基にした教育課程の編成や指導計画、評価計画の作成は各学校が行います。詳しいことについては、学校にお問い合わせください。

作成 神奈川県教育委員会子ども教育支援課 問合せ先 045-210-8217(教育指導グループ)